

「社内報アワード2021」審査項目と部門 相対表

			紙媒体				Web/アプリ媒体		動画	
			特集 (8P以上、7P以下)	連載・常設	一冊子	特別	企画単体	媒体全体	---	
	倍率	審査項目								
企画	×2	●媒体の発行目的・編集方針を踏まえているか	●	●	●	●	●	●	●	
		●企画自体の目的が明確か	●	●		●	●		●	
		●経営や組織の課題が認識され、その解決と企業価値向上につながっているか	●	●	●		●	●	●	●
		●社員の知識・認識・行動の変化につながるか	●	●	●	●	●	●	●	●
	×2	●媒体の役割や特性をとらえているか			●			●	●	●
		●全体構成・導線設計・システム・仕組みに工夫があるか			●		●		●	
		●企画自体の目的を果たすために効果的な構成となっているか	●	●				●		●
		●テーマの深掘りは十分になされているか	●	●			●	●		●
		●独創性・斬新性、多角的な視点はあるか	●	●	●		●	●	●	●
	×1.5	●ターゲットは明確か	●	●	●	●	●	●	●	●
		●ターゲットを意識した切り口か	●	●	●	●	●	●	●	●
		●ターゲットが理解しやすい内容になっているか	●	●	●	●	●	●	●	●
×1.5	●情報は趣旨・テーマに即しているか	●	●	●	●	●	●	●	●	
	●情報が理解しやすく整理されているか	●	●	●	●	●	●	●	●	
	●情報の質と量は適正か	●	●	●	●	●	●	●	●	
制作	×1.5	●趣旨・テーマ・ターゲットに合っているか	●	●	●	●	●	●	●	
		●読者・視聴者を惹きつけているか	●	●	●	●	●	●	●	
		●映像・音声・写真・イラスト・図表など、媒体特性に合った工夫があるか	●	●	●	●	●	●	●	
	×1.5	●タイトル・見出しに訴求力はあるか	●	●	●	●	●	●	●	
		●全体のボリュームが適切で、分かりやすく、趣旨が伝わるか	●	●	●	●	●	●	●	
		●キャプション、テロップなど、媒体特性に合った工夫があるか	●	●	●	●	●	●	●	

「社内報アワード2021」 インターナルコミュニケーション・プロデューサー部門 審査項目

	評価ポイント	具体的内容
主体性	当事者意識および関与度合い	自ら手を挙げ行動を起こした
取組課題の難易度	目標や課題のレベル感	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の「改善」レベル ・仕事の「改革」レベル ・仕事の「変革」レベル
戦略性	目標や課題に対するアプローチの合理性	目標達成に向けたプランニングと到達度合
リーダーシップ	プロジェクト全体の客観的状況把握と進捗管理、および牽引力	推進力、責任感、協調性のレベル感
成果レベル	行動を起こした成果	KGI、KPIの到達度
ナレッジの有効性	形式知化と有益性	インターナルコミュニケーション業界全体への波及効果